

川崎区の役立つ**福祉情報**をお届け～

ウェーブ

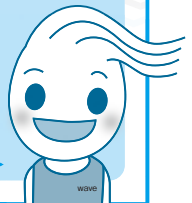
平成 31 年 1 月 1 日

第104号

目次

- 1 福祉パルかわさき移転のご案内
福祉なんでも相談
- 2 平成 30 年度赤い羽根募金・年末たすけあい募金報告
平成 30 年度賛助会員報告
- 3 地区社協のトピックス
・大師第 4 地区社協こども民生委員
・中央第 2 地区社協こども食堂
- 4 区内老人いこいの家案内
- 5 区内老人いこいの家教養講座案内
- 6 平成 30 年度川崎区社協福祉まつり開催報告
「ボランティア基礎講座」を開催します！
- 7 ウェーブくん着ぐるみ作成報告
寄付のご案内
ほほえみコーナー
譲ります・譲ってください
- 8 総合防災訓練報告

イメージキャラクター
ウェーブくん



川崎区社会福祉協議会福祉パルかわさき

発行 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉パルかわさき
川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



〔発行人〕
大橋 新太郎
〔編集人〕
編集委員会
〔発行部数〕
84,000部

福祉パルかわさき移転のご案内

福祉パルかわさきは、川崎ルフロンのリニューアルに伴い、平成 31 年 2 月 22 日（金）をもって、読売川崎富士見ビル（川崎区富士見 1-6）の 6 階に移転することとなります。

移転作業のため、研修室の利用は 2 月 19 日（火）までとし、2 月 23 日（土）は福祉パルを閉所とさせていただきます。

業務開始は 2 月 25 日（月）を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。



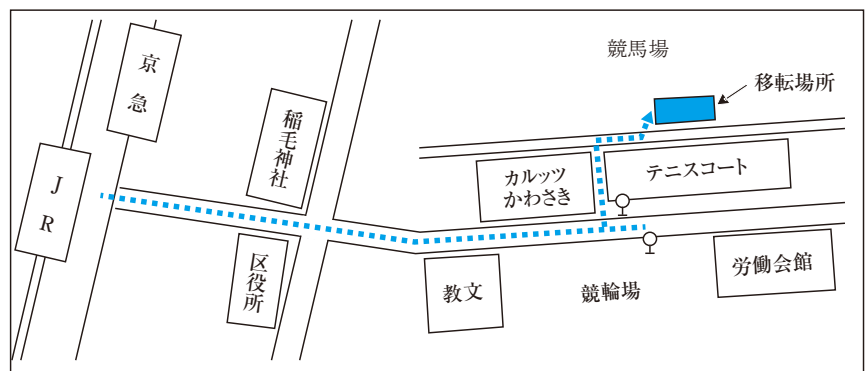
読売川崎富士見ビル

アクセス JR 川崎駅から 1.6km

徒歩 19 分前後

※バスの場合は「競輪場前」で下車し、カルッツ横の遊歩道を通れば徒歩 3 分～6 分程度。

- ・川 04 市営埠頭行き
- ・川 05 川崎マリエン前行き
- ・川 07 東扇島西公園前行き
- ・川 10 水江町行き
- ・川 13 扇島行き
- ・川 15 小田栄循環 他



福祉なんでも相談【総合相談支援事業】

川崎区社協では、「福祉なんでも相談」窓口と位置づけ、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指して、相談の内容に関係なく、福祉に関する相談であれば何でも受付けています。

制度の狭間の問題や課題に寄添い、本人だけではなく、その世帯が抱えるさまざまな課題を含めて丸ごと把握し、あらゆる相談への対応を行い、地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた取り組みを行います。

一つの機関では対応しにくい課題については、住民や行政、福祉関係機関、企業、ボランティア、NPO などと連携・協力して一緒に考えることで、課題解決に向けた動き、新たな仕組みづくりを目指していきます。

「どこに相談すればいいかわからない」
「福祉サービスに関する情報を知りたい」
「だれかに聞いてほしいことがある」
「地域で気になる人がいる」
「今ある制度、仕組みでは解決することが難しい」
などなど、お気軽にご相談ください！

■ お申し込み・お問合せ先 川崎区社会福祉協議会 電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741





共同募金運動に あたたかいご協力ありがとうございます！



川崎区内の
駅・商店街等で
街頭募金を行いました！

今年度も、多くのご協力をいただき、10月1日より共同募金運動を実施しております。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の地域福祉活動のために大切に使用させていただきます。地域の皆様のアたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

募金種類	赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額
戸別募金	11,988,338円	5,864,329円
法人募金	1,485,758円	
街頭募金	1,084,756円	0円
校内募金	123,256円	
職域募金	568,970円	0円
イベント募金	1,000円	0円
その他の募金	108,796円	0円
合計	15,360,874円	5,864,329円

平成30年11月30日現在

年末たすけあい運動の報告

年末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として12月1日から31日まで実施され、今年も区民の皆様から多くの募金をいただきました。厚く御礼申し上げます。

本会では、区民の皆様からご協力いただいた年末たすけあい募金を有効に活用するため、配分方法を考慮し、生活支援が必要な方へ支援金としてお配りするほか、本会が実施する事業を通して地域福祉のより一層の充実を図っております。

今年度もご協力いただいた募金の中から支援金を申請された世帯へ12月から1月にかけて民生委員の皆様のご協力を得てお配りいたしました。

【配布世帯数 503件】

また、支援金としてお配りした以外の募金は翌年度に本会が実施する事業（右表）に活用させていただきます、地域のみなさまに対する支援活動を展開してまいります。

項 目	具 体 的 事 業 内 容
共同募金 配分金事業	・地区社会福祉協議会への助成（地域支え合い活動助成） ・地域福祉活動を実施する団体・グループへの地域福祉活動助成 ・児童福祉事業にかかる区民児協の強化・支援 ・子育て支援グループへの助成 ・障害者支援講座等の開催 ・年末たすけあい運動「支援金」配分事業に伴う事務費
地域福祉 活動事業	・地域福祉活動の拠点として、福祉パル利用者・団体を対象にした、印刷機等貸出事業
在宅福祉 活動事業	・福祉用具の貸出（車いす、高齢者疑似体験グッズ等）
ボランティア 活動振興事業	・ボランティアセンター事業 （ボランティア活動依頼・希望などの相談支援、ボランティア講座の開催、情報紙「いっぽ」の発行、福祉教育推進・相談支援、ボランティアグループの支援等）
企画・ 広報事業	・川崎区社協福祉まつりの開催 ・広報紙「ウェブ」の発行による区社協・福祉情報の提供 ・ホームページによる地域活動紹介と啓発活動の推進
調査・研究 事業	・第4期地域福祉活動計画の進行管理

賛助会員 募集結果の 報告



ご賛同いただいた賛助会費額
(平成 30 年 11 月 30 日現在)

7,593,800 円

今年度も、社会福祉協議会が行う事業や福祉活動に対し多くの区民の皆様から、ご協力・ご賛同をいただきました。深く感謝申し上げます。

なお、ご協力いただきました賛助会費の8割は各地区社会福祉協議会による福祉事業（広報紙の発行、講演会の開催、高齢者ミニデイサービス事業、高齢者の会食会等）に、2割は区社会福祉協議会による福祉事業（区社協組織運営、車イス等福祉用具貸出、区社協広報紙「ウェブ」の発行など）に活用させていただきます。

地区社協のトピックス



●大師第 4 地区社会福祉協議会

新規事業『「一日こども民生委員」と中瀬寿会（老人会）との交流会』を実施しました！

日 時：平成 30 年 8 月 22 日（水）13 時～15 時 30 分
 会 場：中瀬 2 丁目町内会館
 内 容：①こども民生委員について／②委嘱状授与／③民生委員のあらましについて／④ Yes or No ～高齢者調査疑似体験～／⑥懇親／⑦合同輪投げ大会／⑧手話体操／⑨踊り（きよしのズンドコ節・東京音頭）／⑩こども民生委員の感想



大師第 4 地区社会福祉協議会では、「地域福祉懇談会」等で出た地域課題から、「こども民生委員」の実施について検討してきました。

昨年度は他都市の事例をもとに研修を行い、今年度「一日こども民生委員」を実施する運びとなりました。

当日、「こども民生委員」の委嘱状を手渡された子どもたちは、大師第 4 地区社会福祉協議会委員および民生委員・児童委員から民生委員についての説明を受けた後、高齢者調査の模擬体験、地元老人会との交流等様々なプログラムを楽しみながら体験していました。

終了後、小学生からは、「近所のお年寄りに積極的に声掛けしたい」「高齢者だけでなく障害がある方の支援についても考えていきたい」「これを機会にボランティアをやっていきたい」等 前向きな意見が沢山出されました。子どもから高齢者まで地域住民相互の交流も深まり、楽しく有意義な機会となりました。

民生委員とは？

民生委員・児童委員は「民生委員法」及び「児童福祉法」に基づき、厚生労働大臣から委嘱された、地域の身近な相談役です。社会福祉の推進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っています。川崎市では 420 世帯に 1 人を基準に選任され、川崎区の定数は、民生委員 262 名、主任児童委員 20 名となっています。

●中央第二地区社会福祉協議会『こども食堂』



中央第二地区社会福祉協議会福祉部では、地域のご高齢の方たちのための取組みとして、平成 29 年度に認知症予防カフェ「くるみクラブ」を立ち上げ、毎月定期的に開催してきました。「くるみクラブ」の活動も軌道に乗ってきたところで、次に地域の子どもたちに目を向け、何か出来ることはないかを検討し、「こども食堂」に挑戦することにしました。まずは、川崎区内、川崎市外を問わず、実際に活動している「こども食堂」を視察し、アドバイスをいただくことにしました。視察していく中で、それぞれの「こども食堂」には地域の特色によって独自性があり、全く同じやり方はできないということに気付き、自分たちの地域の特性を知るためにも、一度試行実施することにしました。

「地域の場所的資源を積極的に活用していこう」という観点から、かわさき老人福祉・地域交流センターを会場として利用できないか相談したところ、共催事業として利用できることになりました。地域交流センターには料理室と大広間があり、また 4 階には日進町こども文化センターもあるので、調理の間や食事後に親が迎えに来るまでの間など、子どもたちがそこで過ごすこともでき、まさに「こども食堂」にうってつけの場所でした。

また、子どもの募集については、川崎小学校に協力してもらい、全学年に周知したところ、小学校 1 年生から 4 年生までの 29 名からの申込みをいただくことができました。

10 月 24 日（水）17 時からの「こども食堂」試行実施には、21 名の子どもたちが参加してくれました。参加費は 1 人 100 円。子どもたちにはそれぞれの学年に合わせて調理を手伝ってもらい、カレーライスとサラダを作りました。学年も、子どもも大人も関係なく同じテーブルを囲み、一緒に作った美味しいカレーを食べる時間は、普段あまり関わることのない同じ地域に暮らす「仲間たち」との交流を深める楽しく有意義な機会となりました。

地域の場所的資源や人的資源を活用して、運営者自身も楽しみながら、ゆったりと焦らずに、未来を担う子どもの育ちを支えていくために、平成 31 年度の「こども食堂」本格立ち上げを目標にしています。



川崎区内老人いこいの家のご案内

川崎区内には 9 館の老人いこいの家（通称：いこいの家）があります。
 いこいの家は川崎市在住の 60 才以上の方々にご利用いただける施設です。
 初めての利用の場合は緊急連絡カードをご記入いただきます。
 団体でご利用を希望する場合は、10 名以上の活動でお申し込みください。
 申込みにあたり細則がありますので、管理人にご確認ください。
 毎回来館時に利用者名簿に氏名や住所をご記入いただきます。

地域で元気に交流を持っていただくための施設です。

いこいの家では教養の向上・心身の健康増進などをはかるために、単年度の各種教養講座を開催しています。毎年 4 月に向け、新規参加者を募集します。ご確認の上、各いこいの家にお申し込みください。

◎各館では多種多様な講座や事業を開催しています。

各いこいの家作品展・交流会

介護予防講座（体力測定会）

団塊の世代向け講座（救命救急講座・男性の料理教室）

世代間交流事業（こども文化センター・保育園・幼稚園・小学校等との交流）

健康の日（毎週 1 回健康チェック）

入浴事業（大島いこいの家は実施していません）

月	男性：小田・殿町	女性：殿町
火	男性：渡田※	女性：藤崎・田島
水	男性：京町・殿町	女性：大師・桜本・殿町
木	男性：藤崎・田島	女性：渡田※
金	男性：大師・桜本	女性：小田・京町

※渡田：休止中



大師いこいの家「会食会で腕前披露」



渡田いこいの家「リース作り」



小田いこいの家「やさしいヨガ」



田島いこいの家「市民祭に参加」



桜本いこいの家「作品展」



殿町いこいの家「足裏健康法」



大島いこいの家「保育園児と交流」



京町いこいの家「くすだま作り」



藤崎いこいの家「マンカラ交流会」

川崎区内老人いこいの家

平成 31 年度 教養講座についてのご案内

川崎区内の老人いこいの家(通称いこいの家)では、平成 31 年 4 月から開催する教養講座の受講生を募集します。

- ・教養講座 内容と日程 下記参照
- ・募集期間 2 月 1 日(金)～2 月 28 日(木)
- ・募集方法 各いこいの家にて受け付けます
所定申込書を記入してください
※官製はがきを 1 枚ご持参ください
- ・受講者決定 3 月初旬
(定員を超えた場合は抽選となります)
- ・結果発表 3 月中旬にご持参のハガキでお知らせします

- ◎初めての参加者・受講者を優先します。
- ◎教養講座の受講料は無料ですが、講座によっては材料費・資料代がかかることがありますのでご確認ください。
- ◎定期的に開催する講座以外に単発・短期・不定期で開催する講座もあります。
- ◎詳細は参加を希望する各いこいの家にお問合せください。

【教養講座】

いこいの家 電話・所在地	講座名 定員・曜日・時間	講座名 定員・曜日・時間	講座名 定員・曜日・時間	講座名 定員・曜日・時間	講座名 定員・曜日・時間
大 師 ☎ 277-7979 大師公園 1-4	元気アップ体操 25 人 第 1 月 13:30	歌って回想健康法 25 人 第 4 木 10:00	手作り趣味講座 第 2 水 13:30 要材料費		㊟ 笑いヨガ 年 2 回(短期)
小 田 ☎ 344-3387 小田 2-16-9	みんなが元気になる体操 25 人 第 1 月 10:00	歌って回想健康法 35 人 第 4 月 13:30	やさしいヨガ 15 人 第 1、3 月 13:30	俳句の会(初心者) 15 人 第 4 水 13:30 要資料代	手作り小物講座 12 人 第 1 火 10:00 要材料費
藤 崎 ☎ 222-7773 藤崎 4-17-6	元気アップ体操 25 人 第 2 月 13:30	歌って回想健康法 25 人 第 2 木 10:00	笑いヨガ 第 2、4 火 10:00 要材料費	絵手紙教室 第 2 月 10:00 要材料費	㊟ 折り紙教室 年 4 回 要材料費 ㊟ 手作り小物教室 6 月・10 月 要材料費
田 島 ☎ 366-2811 田島町 20-23	みんなが元気になる体操 25 人 第 2 月 10:00	歌って回想健康法 25 人 第 1 木 10:00	書道教室 12 人 第 1 月 10:00 要資料代	手作り趣味教室 12 人 月 2 回 不定期 材料持参	㊟ ①笑いヨガ 年 2 回 ②盆踊り教室 年 3 回 ③小物づくり 年 3 回 ④折り紙教室 年 3 回
大 島 ☎ 233-8867 大島 1-9-6	いきいき元気体操 20 人 第 2 水 13:30	歌って回想健康法 25 人 第 2 木 13:30	囲碁教室 15 人 第 1、3 水 10:00	絵手紙教室 15 人 第 3 水 13:00 要材料費	㊟ ①折り紙教室 年 2 回 ②ラベンダーの香りステ ィック作り教室 年 1 回 ③小物づくり 年 3 回 ①②③要材料費
桜 本 ☎ 277-5125 桜本 2-5-2	みんなが元気になる体操 25 人 第 3 月 13:30	歌って回想健康法 25 人 第 2 月 13:30	絵手紙教室 15 人 第 4 月 10:00 要材料費	水彩画教室 第 1、3 水 13:00 要材料費	㊟ ①笑いヨガ 年 2 回 ②小物作り教室 年 1 回 ③折り紙教室 年 4 回 ④クリスマスリース教室 年 1 回 ②③④要材料費
京 町 ☎ 344-0184 京町 3-12-2	みんなが元気になる体操 20 人 第 3 月 10:00	歌って回想健康法 25 人 第 4 月 10:00	やさしいヨガ 10 人 第 2 木 13:00	小物作り教室 年 10 回 第 1 水 10:00 要材料費	㊟ ①折り紙教室 年 2 回 ②折り紙教室 2 年 2 回 ③ラベンダーの香りステ ィック作り教室 年 1 回 ④手作り趣味 年 1 回 ①②③④要材料費
渡 田 ☎ 366-4075 渡田 4-12-20	みんなが元気になる体操 25 人 第 4 月 10:00	歌って回想健康法 25 人 第 1 金 10:00	笑いヨガ 月 2 回 曜日・時間 未定	男性の体操教室 20 人 第 3 土 10:00	絵手紙教室 毎月第 4 木 13:00 ㊟ ボッチャ 年 2 回
殿 町 ☎ 287-9108 殿町 1-20-15	元気アップ体操 25 人 第 3 月 10:00	歌って回想健康法 30 人 第 4 木 13:30	吹き矢 月 2 回 4 月～9 月 第 2、4 火 13:30	㊟ クラフト教室 年 4 回 要材料費	㊟ ①笑いヨガ 年 2 回 8/10・24 土 10:00 ②簡単足裏健康法 7 月 要資料代

【単発・短期・不定期講座】

※開催日 2 か月前にチラシ(いこいの家館内・町内会掲示板・いこいの家新聞)などで広報します。
開催時期や詳細については、各いこいの家にお問合せください。

平成 30 年度 ▶ ご来場ありがとうございました！ 川崎区社協福祉まつり開催報告

平成 30 年 12 月 1 日（土）川崎市教育文化会館にて平成 30 年度「川崎区社協福祉まつり」が開催され、当日は晴天に恵まれ、1,368 名の方にご来場いただきました！

社会福祉大会（地域福祉活動に貢献した方へ表彰状・感謝状贈呈）やかわさきマルシェ（福祉作業所の自主製品販売、社会貢献企業の出店など）、ふれあいエリア（福祉活動紹介・体験）、パラスポーツ体験や手話ワークショップなど、子どもから大人まで楽しめる様々な企画が催されました！

40 の参加団体、8 社の協賛企業、約 100 名の係員・ボランティアに協力していただき、今年も盛大に開催することができました！



開会式・社会福祉大会



ふれあいエリア



かわさきマルシェ



パラスポーツ体験
「サウンドテーブルテニス」



パラスポーツ体験「車いすバスケット」



作って遊ぼうコーナー



バルーンアート

川崎区社会福祉協議会ボランティアセンターからのお知らせ 「ボランティア基礎講座」を開催します！

ボランティアや地域活動に興味を持っている方々などを対象に、自分の住んでいる地域に目を向け、気軽に活動への一歩を踏み出すきっかけとなることを目的に「ボランティア基礎講座」を開催します。

日 程：平成 31 年 1 月 31 日（木） 13 時 30 分～15 時 30 分（予定）

会 場：大島老人いこいの家（川崎区大島 1-9-6）

内 容：（予定）～はじめのいっぽ・始めてみませんか？～

①講演：「ボランティアって？」

ボランティア活動の概論 【講師：牧岡 英夫氏】

②活動事例発表：「地域にどんなボランティア活動があるの？」

③川崎区ボランティアセンターの事業案内 等



*参加対象：ボランティアや地域活動に興味・関心がある地域住民、老人いこいの家利用者

*定 員：30 名（先着順）

*参加費：無料

*申込方法：来所、電話、FAX、メールにて申込み

申込・問合せ先

社会福祉法人川崎市川崎区社会福祉協議会 川崎区ボランティアセンター

〒210-0024 川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階

TEL 044-246-5500 / FAX 044-211-8741

E-mail: info@kawasakikushakyo.or.jp



ウェーブくん着ぐるみ誕生！

ウェーブくんの着ぐるみが誕生しました！

平成3年の「福祉パルかわさき」開設に伴い、誕生した当会のキャラクター「ウェーブくん」。長年、情報紙「ウェーブ」やさまざまな広報物にて活躍して来ましたが、この度着ぐるみとして登場しました！

9月15日にラゾーナ川崎にてデビューし、福祉まつりのPRを行いました。赤い羽根共同募金の街頭募金や福祉まつりでも活動しています。



地域のお祭りやイベント等活躍の場面を狙っているウェーブくん。お気軽にお声掛けください！



名前：ウェーブくん
由来：川崎市内で川崎区だけが海に面しており、波をイメージしたキャラクター



子どもから大人までたくさんの方に「かわいい！」「写真とってください！」と声をかけていただきました。

.....寄付のご支援ご協力をお願い.....

本会では、地域のみなさまから善意の寄付金品をお預かりし、各種福祉活動の支援に活用しています。お預かりした寄付金は地域福祉の推進を目的に、各種事業の財源として活用させていただきます。また、寄付物品につきましても本会が行う事業に役立たせていただいております。平成29年度は2,105,994円（車イス5台、マスク72,000枚、テーブル8台 等含む）の寄付をいただきました。

寄付には様々な方法があり、区内には、飲物を購入いただくと、その売上の一部が本会に寄付される自動販売機を設置していただいている社会福祉施設もあります。

また、本会への寄付金には、特定公益増進法人への寄付として金額により、税制上の優遇措置があります。

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」、寄付もそのためにできることのひとつです。寄付をされる方は、まずはご相談ください。

地域にお住まいのみなさまのご厚意を心よりお待ちしております。

■ お申し込み・お問合せ先

川崎区社会福祉協議会 地域課 電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741

ほほえみコーナー

寄付者名（受付順）

平成30年8月1日～平成30年11月30日

- 川崎競馬秋まつり 2018 実行委員会 様
- 木口 敏幸 様
- 木口 角夫 様
- 株式会社 バンテック
- 日立物流まごころ基金 様
- 藤崎いこいの家 周年事業実行委員会 様
- 大本山 川崎大師 平間寺 様



福祉用具 再利用

譲ります・譲ってください

川崎区にお住まいの方々を対象に、車いす、ポータブルトイレ等の福祉用具を、譲りたい方と譲って欲しい方との間で、ご紹介しています。



車椅子



ポータブルトイレ

現在譲りたい方から、**車いす**と**ポータブルトイレ**と**浴室用椅子**の登録があります。

お譲りいただける方は、川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

電話：044-246-5500

FAX：044-211-8741

メールアドレス：
info@kawasakikushakyo.or.jp

第39回九都県市合同防災訓練 (平成30年度川崎市総合防災訓練)において 災害ボランティアセンターの 設置・運営訓練を実施しました!

社会福祉協議会では、各区持ち回りで開催されている川崎市総合防災訓練で災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しています。本年度は川崎区が当番となり、九都県市合同防災訓練との合同開催という形で、9月1日、東扇島において例年より大規模な形で訓練が実施されました。本会も川崎市社会福祉協議会と一緒にこの訓練に参加し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行いました。

例年は職員を中心としてボランティアの受付からマッチングまでの流れを確認する形式でしたが、今年は実際に床剥がしと段ボールベッドを作成するボランティア体験もしていただき、より実践的な訓練を行いました。また、事前に申し込みをいただいた市民の方に運営のお手伝いをしていただき、職員や関係機関とあわせて76名のスタッフで運営しました。当日来場者にはボランティア役・被災者役になっていただき、多くの方に訓練に参加いただきました。中にはこの訓練に参加するためだけに来場いただいた方もいて、災害に関する関心の高まりを実感しました。

今年は、日本各地で多くの災害が発生しており、災害ボランティアセンターも色々な場所で設置されています。いつ起こるか分からない災害だからこそ、こうした訓練を大切にしていきたいと思います。また、多くの区民の方に災害ボランティアセンターのことを知ってもらえるように、広報・啓発活動を今後も続けていきます。

参加いただいた方、ありがとうございました!



市立川崎高校の生徒さんも、大勢参加してくれました!



ボランティアオリエンテーション



ニーズ受付



床剥がし体験



ダンボールベッド作成体験



展示コーナー



災害ボランティアセンター(災害VC)は、災害(地震・風水害など)が発生した際に、被災した方々や地域を支援するために、臨時的・応急的に作られるボランティアセンターです。

各地から集まってくるボランティアと、被災者のニーズをつなぐことが大きな役割です。